

## 共有建造制度による「国内クルーズ船」第一号が就航します ～せとうちエリアにおける観光型高速クルーザー～

株式会社瀬戸内島たびコーポレーション（代表取締役：仁田一郎）と鉄道・運輸機構の共有船「SEA SPICA」（シー スピカ）（※1）が、令和2年8月4日に瀬戸内クラフト株式会社（代表取締役：川口洋）において竣工し、本日広島港（宇品）にて就航披露式が執り行われました。（※1）本船概要は参考1のとおり。

鉄道・運輸機構は、国が提唱する「観光先進国」に向けて策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月30日策定）において「瀬戸内海や南西諸島など新たな国内クルーズ周遊ルートの開拓」が示されたこと、また、「観光立国推進基本計画」（平成29年閣議決定）において、バリアフリー化や多言語表示の充実等の訪日外国人旅行者の受入環境整備等によりサービスの多様化・高度化を図ることとされたことなどを踏まえ、平成30年度に「国内クルーズ船」（※2）を共有建造制度の対象に追加しました。

（※2）国内クルーズ船：訪日外国人旅行者や日本人等旅行者がその地域における海や内水面（湖沼等）の観光資源を利用することを目的としてそれらの集客に資する船舶。

本船は共有建造制度活用による「国内クルーズ船」の適用第一号案件であり、効率的な周遊を可能とする高速航行性能、優れたデザイン性、快適な旅客空間、訪日外国人旅行者向け船内案内設備、ご高齢の方やお体の不自由な方でも容易に2階デッキに上がることができる階段昇降設備、抗菌・抗ウイルス空気触媒施工による感染防止対策などを兼ね備えた、観光型高速クルーザーです。

今後本船は広島港（宇品）と三原港とを結ぶ「とびしま海道・しまなみ海道エリア」に就航する予定（参考2参照）であり、令和2年10月から12月まで広島県とその周辺地域で開催が予定されている「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」や、国土交通省が海や船をより多くの方々に楽しんで頂くことを目指して推進する「C to Sea プロジェクト」などに大きく貢献し、誘客拡大につながることを期待されます。

鉄道・運輸機構は、先駆的な共有建造事業者の皆様への支援を通じて、今後とも「SEA SPICA」（シー スピカ）のような政策的にも重要な船舶の建造を推進して参ります。



「SEA SPICA」の外観

＜本件に関するお問合せ先＞

共有船舶建造支援部 建造支援課

TEL 045-222-9139

共有船舶建造支援部 技術支援課

TEL 045-222-9123

《参考1：本船の概要》

船名	SEA SPICA
共有建造事業者	株式会社瀬戸内島たびコーポレーション
船種	高速船
総トン数	90トン
航海速度	22.0ノット
旅客定員	90人
建造造船所	瀬戸内クラフト株式会社
竣工日	令和2年8月4日

《参考2：運航予定（JR西日本せとうちパレットプロジェクト<sup>(※3)</sup> ホームページより一部引用）》

(1) 9月2日(水)～9月30日(水):団体ツアーの予約日に運航(火曜日を除く)

主な旅行会社で団体ツアー専用商品として順次発売されます。

注)エリアによって発売のない場合もございます。

(2) 10月2日(金)～12月14日(月):月曜日・金曜日・土曜日・日曜日に運航

(一部設定の無い日がありますのでご注意ください)

団体ツアーのお客様だけでなく、主な旅行会社から個人旅行利用のお客様向けオプションツアーとしても発売されます。また、JR西日本が提供する会員制ネット予約サービスと組み合わせの商品や、瀬戸内海汽船トラベルサービス<sup>(※4)</sup> ホームページでも発売されます。

(※3) JR西日本 せとうちパレットプロジェクト

<https://www.setouchi-palette.jp/>

(※4) 瀬戸内海汽船トラベルサービス

<http://setonaikaikisen.co.jp/simatabi/>